

# 災害に備える

9月1日は「防災の日」

集中豪雨やゲリラ豪雨といわれる局地的大雨の発生が、近年多くなっています。岩見沢市でも、昨年9月に31年ぶりの大雨で、多くの方々が被害にあわれました。突然の大雨などによる、河川の氾濫や土砂崩れ、さらには、竜巻や地震などによる家屋の倒壊など、様々な災害からの被害を少しでも減らすためには、日頃から各家庭や地域で備えをしておくことが重要です。そして、災害が発生したときには、正確な情報入手し、素早い行動をとることが大切です。



## 家庭で出来ること

災害時は、何よりもまず自分自身や家族の身を守り、安全を確保する必要があります。

突然やってくる災害に備え、日頃から次の事を家庭で話し合ったり、準備したりしておきましょう。

## 災害時の家族との連絡方法

災害時は、携帯電話がつながりにくくなります。災害用伝言ダイヤル「171」やインターネットサービスなども活用できます。

## 避難所と避難経路の確認

災害時の避難場所を確認しておき、迅速に避難できるようにしておきましょう。また、避難経路を実際に歩いてみることで、途中に坂がある、道端に崩れやすいものが積んであるなど道の状態を把握でき、避難所までどのくらいの時間がかかるかなども確認できます。

## 非常食 7日分程度を用意し、そのうち3日分を目安に非常持ち出し分として準備しましょう。また、定期的に賞味期限を確認してください。

非常食 7日分程度を用意し、そのうち3日分を目安に非常持ち出し分として準備しましょう。また、定期的に賞味期限を確認してください。

確認し、入れ替えましょう。

懐中電灯、ラジオ 夜間行動する際や、情報収集に使えます。定期的に電池の残量を確認しましょう。

その他 季節や家族の状況などに合わせ、必要なものを準備しましょう。

これらをリュックサックなどにまとめておき、玄関や物置などすぐに持ち出せる場所に保管しましょう。また貴重品は、決まった場所に保管し、すぐに取り出せるようにしましょう。

## 家の中や周辺の危険箇所の確認

家具や家電は災害時に倒れてくる可能性があります。家の中で安全な場所を確保しておきましょう。市販の転倒防止グッズなども有効です。また、家の周辺で、河川の氾濫や土砂崩れなどの危険のある場所を確認しておき、災害時は近づかないようにしましょう。

## 【災害時にこそ正しい情報を】

自然災害は、まだ大丈夫と思っ  
ていても急激に状況が変化する場  
合があります。テレビやラジオな  
どで最新の情報入手し、異変を



平成24年は、42年ぶりの豪雪や9月の局地的集中豪雨といった自然災害に見舞われた年でした。

市は、これらの経験と反省を今後にいかすため、防災対策の見直しや、防災訓練の実施など、市民の皆さんが安心して暮らせるまちづくりを進めています。

## 問合せ先 市防災対策室

開基130年・市制施行70周年記念  
**岩見沢市安全安心・防災合同パレード**

市、警察、消防、自衛隊など、市民の皆さんの安全と安心を守る団体がパレードします。

日時 10月5日(土) 午後1時30分  
コース 4条通の西2丁目から4丁目まで  
【車両・パネル展示】  
時間 午後1時30分～4時  
会場 駅東市民広場公園、イベントホール赤れんが(いずれも有明町南1)  
問合せ 市庶務課

## あ いさつなどの声かけ

普段からご近所同士で声をかけあい、互いの情報交換などを行っておくと、万が一の時に安否確認などがスムーズに行えます。

## 避難方法と役割分担を

地域の中で、一人で避難できない高齢者や障がい者以下、要援護者という)がどこに、何人いて、どのような状態なのかを把握し、その人の状況に応じた避難の方法や役割分担の確認も重要です。

## 【災害時要援護者避難支援制度に登録を！】

災害時要援護者避難支援制度は、要援護者に対し、地域であらかじめ状況や支援方法などを確認しておき、スムーズな避難支援などを行う取り組みです。災害時に支援を必要とする方は、お問い合わせください。

## 【自主防災組織を「存じますか?」

自主防災組織は、災害が発生した時に、地域で自主的に防災活動を行う組織です。

## 地域で出来ること

災害が発生しても、警察や消防などの人員と体制には限界があるため、災害の規模によっては、全ての災害現場に対応することはできません。

災害時は、地域での助け合いと行政による救助活動などが互いに連携することで、被害を最小限に食い止めることができます。

そのために、日頃から、次の事を地域の皆さんで話し合い、確認をしておくことが重要です。

